

実績報告書

届出者	住所	大阪府泉南市泉州空港南1	氏名	ロイヤルインフライトケイタリング株式会社 代表取締役社長 梅津 光浩
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		1、航空機内食の調整 2、食品（弁当など）の販売 3、保税倉庫業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2015 年 4 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2014)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	3,924 t-CO ₂	3,432 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	4,374 t-CO ₂	3,817 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2018 年度)	第1年度 (2015 年度)	第2年度 (2016 年度)	第3年度 (2017 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.9 %	2.7 %	18.4 %
削減率(平準化補正ベース)		-	5.2 %	4.1 %	18.6 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(売上食数)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

29年度は事業が好調で機内食数があがりました。エネルギー使用は省エネタイプ洗浄機の影響でガス使用量が削減出来ております。
--

(2) 推進体制

毎月の安全衛生委員会でエネルギー管理者から原単位の報告を行い、過去の実績と比較し削減意識を持つよう促しています。また、玄関ホールに削減目標・項目の掲示をしています。

(3) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱の 区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	本社工場	コード (1111) 3社合併による 各社数字管理	大阪の数値管理を担当を決め行う。	2015 年度 ～ 2016 年度
	レ	人工排熱				
		平準化				
2	レ	GHG排出	本社工場	コード (1218) LED照明器具の交 換	蛍光灯からLEDの照明器具に交換	2015 年度 ～ 2018 年度
	レ	人工排熱				
		平準化				
3		GHG排出	本社工場	コード (5231) 中央監視盤の活 用	中央監視盤が現在受付にしかなくビル管理室にも端末を設置し運転管理を行う	2015 年度 ～ 2014 年度
		人工排熱				
		平準化				
4		GHG排出	本社工場	コード (1113) 管理部による空 調運転管理	クールビズ・空調機の温度設定の取り決めを行い削減する。	2015 年度 ～ 2018 年度
		人工排熱				
		平準化				
5		GHG排出	本社工場	コード (1122) 冷凍・冷蔵庫の 開閉留意	毎月の安全衛生委員会での推進、掲示により冷蔵・冷凍庫の開閉時間を最小限に抑える	2017 年度 ～ 2018 年度
		人工排熱				
		平準化				
6		GHG排出	本社工場	コード (5121) オフィスワーク 対象者の変形労 働時間制導入	本制度の挿入により、土日出勤ができることでピークシフトに貢献する	2016 年度 ～ 2018 年度
		人工排熱				
		平準化				
7		GHG排出	本社工場	コード (5113) 複合機使用実績 の分析と対策	複合機メーカーから使用実績をもらい、部署ごとの使用傾向を分析。PDF・Nアップ等推奨し省エネを図る	2017 年度 ～ 2018 年度
		人工排熱				
		平準化				
8		GHG排出	本社工場	コード (1212) 洗浄機器の入替	洗浄機器を省エネ効果の高いものに入れ替える	～ 年度 ～ 年度
		人工排熱				
		平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱の 区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	本社工場	コード (0)	低燃費車への入替	2015 年度 ～ 2018 年度
	レ	人工排熱				
2	レ	GHG排出	本社工場	コード (0)	車両のエンジンを停止し工場内から荷箱用の冷却電源を取る。	2017 年度 ～ 2018 年度
	レ	人工排熱				
3		GHG排出	本社工場	コード (0)	社内掲示にて省エネ運転を推奨 急発進・急停車の抑制	2017 年度 ～ 2018 年度
		人工排熱				

(4) その他の抑制対策

実績報告書

		大阪市北区中之島5丁目3番68号		株式会社 ロイヤルホテル
届出者	住所		氏名	代表取締役社長 蔭山 秀一
特定事業者の主たる業種		75宿泊業		
該当する特定事業者の要件	レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者		
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者		
		大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者		
事業の概要		宴会場・客室・レストラン・プール・販売店他を持ちサービス業を運営		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間
2015 年 4 月 1 日～ 2018 年 3 月 31 日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(0)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	28,331 t-CO ₂	26,007 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	30,667 t-CO ₂	27,868 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (0 年度)	第1年度 (2015 年度)	第2年度 (2016 年度)	第3年度 (2017 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0 %	5.7 %	5.7 %
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		-	5.6 %	6.6 %	9.2 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>平成29年度はボイラーの燃焼制御及び給気ファンのインバータ化を行いまた、照明設備の高効率化なども実施しました。 その結果、CO2排出量は基準比8.3%の削減(目標3%)が出来ました。</p>
--

(2) 推進体制

毎月、各部署別に動力光熱費(電気・ガス・水道の使用量)の分析表を配信し、全社的なエネルギーの合理化を推進すると共に、エネルギー管理標準を基として、地球温暖化防止に努めている。

(3) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG)の排出 及び人工排熱の 区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1211) ボイラ空燃調整	年間、2回のメーカーによる空燃調整を 実施 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
2	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1218) 照明設備の改修	省エネ効果の高いHF型蛍光灯の利用及び 電子安定器使用の蛍光灯器具に順次更新する。 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
3	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1218) 消防設備 (誘導 灯) 更新	館内の非常出口灯・非常口誘導灯を順次 LEDランプタイプの物に取り替える。 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
4	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1113) 運転時間管理の 充実	宴会場及びレストラン等の営業に合わせた機器 類の運転時間管理を厳密にする。 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
5	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1218) 照度管理の充実	宴会場の照度は設営時と営業時の値を 決め、きめ細かに管理する。 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
6	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1124) 冷温水温度管理	各二次側冷水ポンプにインバーター制御を導入 して電力の省エネを計る。	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
7	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1216) 空調設備の改修	各空調機にインバーター制御を導入して電力の省 エネを計る。	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
8	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1218) 照明設備の改修	館内照明器具を省エネ効果の高いLED電球の利 用に順次更新する。 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
9	レ	GHG排出	リーガロイヤルホテル	コード (1124) 熱源機器の更新	タワーウィング900kWターボ冷凍機の更新工事 を実施し、運転効率を改善する。 (平成28年度実施済み)	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG)の排出 及び人工排熱の 区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1		GHG排出		コード		年度 ～ 年度
		人工排熱				

(4) その他の抑制対策

実績報告書

		大阪府大阪市生野区巽西1-8-1		ロート製薬株式会社
届出者	住所		氏名	代表取締役会長兼社長 山田 邦雄
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1)計画期間				
2015年	4月	1日	～	2018年 3月 31日 (3年間)

(2)前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2014)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	4,659 t-CO ₂	3,242 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	5,135 t-CO ₂	3,602 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3)温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2017年度)	第1年度 (2015年度)	第2年度 (2016年度)	第3年度 (2017年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	3.0%	1.3%	26.2%
		削減率(原単位ベース)	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		-	1.7%	25.9%	29.9%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1)温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>第3年度は30.5%と昨年度から更に削減となりました。これについては、省エネルギー型機器への更新が順調に進んでいる事に加え、切り忘れ防止などの徹底が寄与したと考えられます。今後もより一層削減に努めてまいります。</p>
--

(2) 推進体制

エネルギー管理統括者・エネルギー企画推進者の方針のもと、主に総務グループ及び生産技術部が担当し省エネ活動を実施しています。また、年1回省エネ報告及び検討会も実施しています。

(3) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出及び人工排熱の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	大阪本社	コード (1218) 高効率照明器具への更新	設置年数や稼働状況を考慮し、積極的に高効率照明器具へ更新していく。	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
2	レ	GHG排出	大阪本社	コード (1215) 変電室 高効率変圧器への更新	設置年数や稼働状況を考慮し、積極的に高効率変圧器へ更新していく。	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
3	レ	GHG排出	大阪本社	コード (1216) 旧型エアコン更新	設置年数や稼働状況を考慮し、積極的に高効率エアコンへ更新していく。	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
4	レ	GHG排出	大阪本社	コード (1121) ボイラーの更新	最新の高効率ボイラーに更新していく。	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
5	レ	GHG排出	大阪本社	コード (1113) 圧縮エアー漏れ・供給時間等の改善	圧縮エアー漏れ・供給時間等の改善	2015 年度 ～ 2017 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出及び人工排熱の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1		GHG排出		コード		年度 ～ 年度
		人工排熱				

(4) その他の抑制対策
